



わかたけ



春日部市立武里小学校
児童数 503名
令和7年1月31日 発行



子供を主語に

校長 加納 敏幸

「子供を主語にした学びを推進してほしい」。先日、本校で実施した授業研究会で指導者から指導を受けた言葉です。

私たち教職員に課されている今日的な教育課題は多岐にわたりますが、本校では『学力向上』を最重要課題のひとつとして位置付けて取り組んでおります。その実現のために必要なことは、教職員の根幹にある“授業改善”にあります。具体的には、教師主導型の教え込む授業から児童が主体的に学び考える授業。そのキーワードとなるのが「子供を主語にした授業づくり」。

本校では、今年度も算数科を中心教科として校内研修に取り組んでいます。特に、重視していることは、児童が自ら学習の問いをつくりだせるような導入の工夫です。教師が「今日はこの問題をしましょう」という教師主導型の授業を続けているといつまで経っても、子供の主体的な学びは実現できません。本校の授業改善では、教師が導入を工夫し本時の学習となる“問い”をつくらせながら、主体的な学びにつなげています。また、1時間の授業では、子供たちがペアやグループの仲間と意見交換をするような協働的な学びも重視し、学びを深めています。

各種調査から見られる、本校の強みは学習方略（学習の効果を高めるために子供が意図的に行う活動）や非認知能力（いわゆる学力であり、たし算、漢字の読み書き、文章題、図形の把握などができる力ではない能力一般）です。全職員で子供たちの強みを最大限に生かしながら、学力向上につなげていきたいと思ひます。

「子供を主語にする」とは、授業だけではなくありません。例えば、学校行事はどうでしょうか。学習指導要領には、その目的とともに、5つの行事内容（①儀式的行事②文化的行事③健康安全・体育的行事④遠足・集団宿泊的行事⑤勤労・生産奉仕的行事）が記されています。本校の健康安全・体育的行事では、わかたけスポーツフェスティバルや校内持久走記録会があげられます。それぞれの行事の目的設定の土台となるのは、同じく「子供を主語にする」。本校の目指す学校像をもとに、児童の現状と課題を振り返り、この行事で身に付けさせたい力を明確にして取り組んでいます。学校の使命は、知・徳・体のバランスのとれた人づくりにあります。私たちに与えられた使命を全教職員で共有し、学習や学校行事を進めています。「子供を主語にする」視点を踏まえた現在の学校行事の在り方は保護者・地域の皆様から見ると、ご自身が体験してきた学校行事と比べ違いも大きく疑問に思う点もあるかもしれません。令和の時代となり、学校生活も変わってきています。今後も保護者・地域の皆様へのていねいな情報発信を行い、子供を主語にした授業・学校行事の実現に向け、その目的を見失わずに取り組んでまいります。

新年の誓い



1月22日(水)～24日(金)に、各学級の代表児童が「新年のちかい」を校内放送で発表しました。自分自身をふり振り返り「今年もがんばるぞ!」という強い思いを込め、それぞれのちかいを発表することができました。子供たちがたてた目標を達成することができるよう、一人一人の子供たちを教職員も全力でサポートしていきます。

あいさつ運動に取り組んでいます

本校では、わかたけ委員会児童を中心に、気持ちの良いあいさつができるよう「あいさつ運動」に全校をあげて取り組んでいます。わかたけ委員の児童が朝、校門に立ち、登校してきた児童に声掛けをしています。

また、低・中・高学年それぞれ、あいさつの目標に向けて、あいさつを行っています。さらに、「あいさつパズル」を実施しています。お互いにあいさつをしてパズルのピースを合わせる活動です。あいさつをすることでお互いにピースを確認することができ、ぴったり合えばピースがそろいます。校内には、1組しかピースが合う人はいません。たくさんの児童にあいさつをすることでピースがそろうチャンスが巡ってきます。児童は、積極的にあいさつに取り組んでいます。

また、先日、21日(火)には、「越谷アルファーズ」の井上宗一郎選手が学校に来て、あいさつ運動を本校児童と共に行いました。井上選手は、身長201cmで、児童は大きさに驚いていました。そして、一緒に元気いっぱいあいさつができました。



進んで元気いっぱいあいさつができる児童を保護者・地域の皆様と共にはぐくんでまいりたいと考えております。



あいさつパズルがそろった絵柄の一例です。

<令和6年度春日部市特別支援学級ふれあいアート展のお知らせ>

- 【日時】 令和7年2月4日(火)～2月28日(金)
【会場】 春日部市教育委員会ブログポータルサイト ※WEB上での開催となります。
https://schit.net/kasukabe/center/gakko_now
【内容】 絵画、粘土、工作、習字、家庭科作品、技術科作品等の掲載
【主催】 ・春日部市特別支援教育推進協議会 ・春日部市教育委員会
・春日部市教育研究会特別支援教育研究部
【問合せ】 春日部市教育委員会 指導課 TEL048-763-2220

